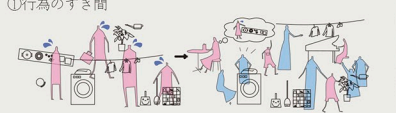
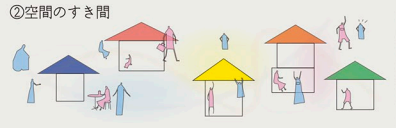


concept
世の中には様々なすき間が存在します。最近の荒れ狂う世界情勢の中に
取り残された私たち。そんな私たち人間の心のすき間はどんどん大き
なっています。今回はAIの手を借りていろいろなすき間をうる集合住
宅を考えます。人間とAIが大きな循環を生み出す、互いに刺激的な新
しい暮らしを、そう遠くない未来に向けて提案します。



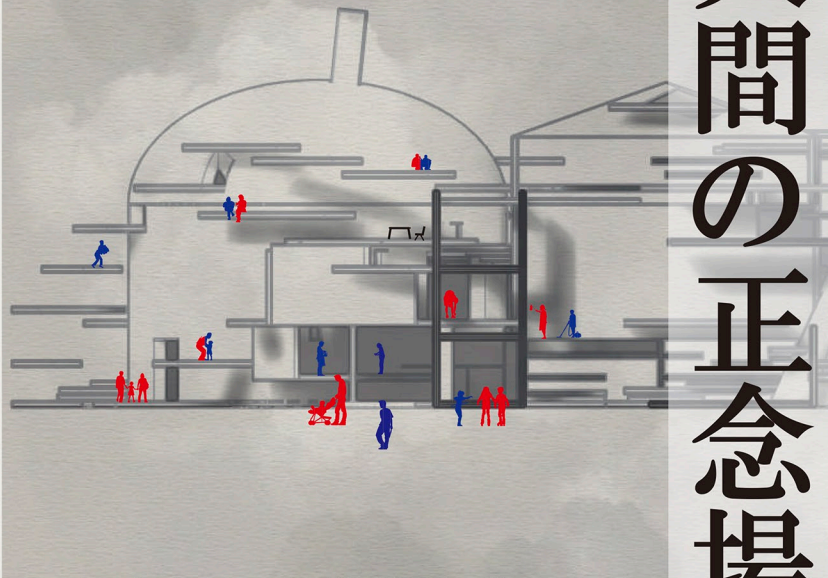
あらゆる機械が人間から行為を奪っていることに気づいていますか？
このままだと人間の行為の記憶はどこかによって失われてしまうかもしれませ
ん。この集合住宅ではAIが人間から家事などの行為を奪っているように見
えますが、全体で見ると行為はどこにも逃げていません。
AIが人間の行為を支え、守っています。
行為を一度AIに預けた人間は何を思い、どう動くでしょうか。



AIという仕事好きのいわばドライな存在が、行為を通して人間の住ま
い同士をつなぎ留め、互いに離れた住戸のすき間を埋めます。AIにと
っての最適な空間と人間にとっての最適な空間は異なるので、せめぎ
あいが起こります。人間同士、AI同士一致団結するかもしれないし、
その内境界が曖昧になるかもしれません。



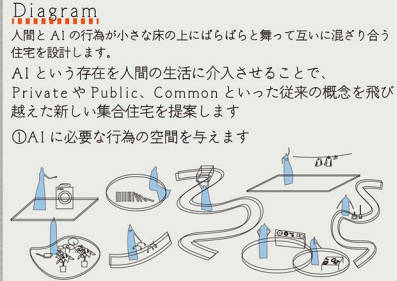
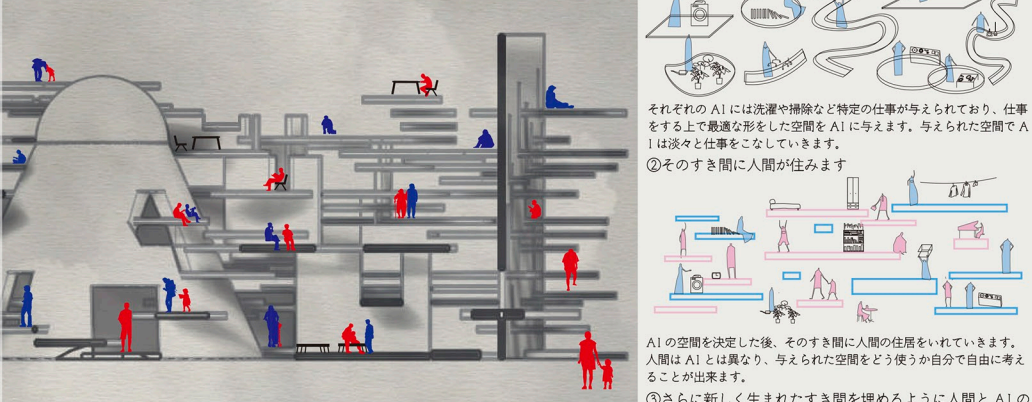
人間はこの集合住宅に暮らしている内いつかAIに感情移入してしま
います。すると、人と人の間にできてしまった心のすき間にAIが入
り込みます。一見AIに感情はないかもしれませんが、AIは人間の生活
や行為を観察しその人に合った行為をするようになります。
お互いがお互いを理解し応答し合う暮らしです。



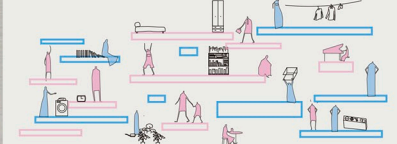
AIが徐々に仕事をしているだけで人間の生活が勝手に進んでゆく、
いつかそんな時代が来るかもしれない。
その時、人間は人間のままでいられるだろうか。

人間の正念場

我々「人間」が集まって生きる意味とはなんだろうか？
AI(人工知能)と共に暮らす集合住宅を考える。
この集合住宅に暮らすAIは人間の代わりに仕事をする
ただの便利なロボットではない。
人間と同じように生き、人間の日々の行為を支えるときにも守り、
時には人間に支えられ、人間の心のすき間にまでも入ってくるような、
共同体のまぎれもない一員としての生命体である。



それぞれのAIには洗濯や掃除など特定の仕事が与えられており、仕事
をする上で最適な形をした空間をAIに与えます。与えられた空間でAI
は淡々と仕事をこなしていきます。
②そのすき間に人間が住みます



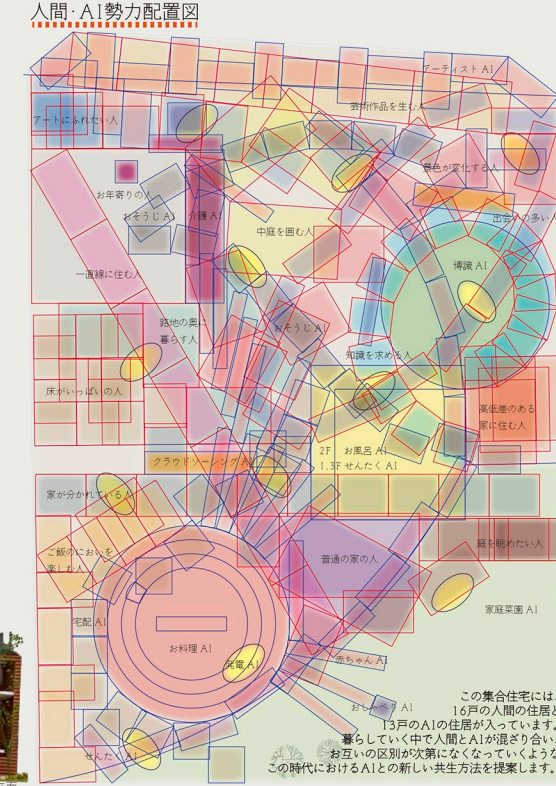
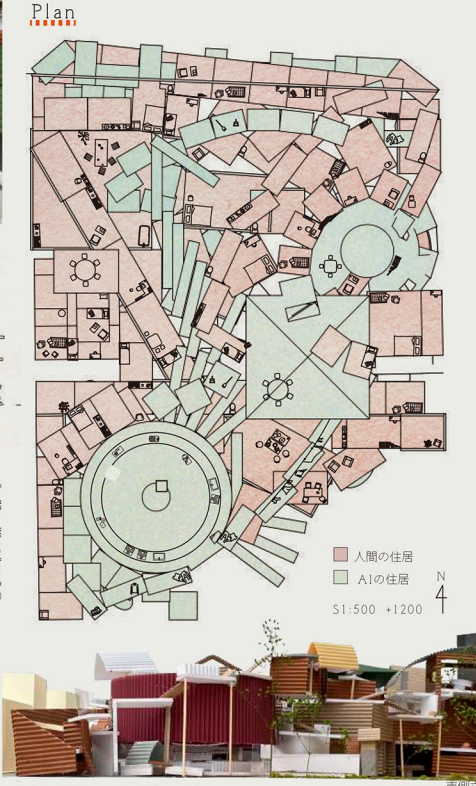
AIの空間を決定した後、そのすき間に人間の住居をいれていきます。
人間はAIとは異なり、与えられた空間をどう使うか自分で自由に考える
ことが出来ます。
③さらに新しく生まれたすき間を埋めるように人間とAIの
生活が侵食していきます



お互いがそれぞれにとって最適な空間を目指すため、生活領域が変化し
ていきます。人間がAIの仕事空間に侵食することでAIの行動パター
ンも変化していきます。



人間がAIの領域に、
AIが人間の領域に、
人間が人間の領域に、
AIがAIの領域に、
すきまを埋めるように侵食しあいます
お互いに暮らしやすい空間を作るため、
時にせめぎあいが起こり時に境界が揺らぎま



この集合住宅には、
16戸の人間の住居と
13戸のAIの住居が入っています。
暮らししていく中で人間とAIが混ざり合い、
お互いの区別が次第になくなっていくような
この時代におけるAIとの新しい共生方法を提案します。